

令和元年度

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業

管理機関 研究報告書

2020 年 3 月 31 日

学校法人関西学院

**1. 名称（行事名称）**

ワークショップ“AI活用for SDGs”

**2. 開催日時**

2019 年 8 月 1 日（水） 9:30 ～ 17:00

**3. 開催場所**

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス 社会学部棟・G 号館

**4. 担当者・講師等（全員・役職名）**

巳波 弘佳（関西学院大学 学長補佐・理工学部教授）  
山下 二郎（関西学院大学 高大接続センター 事務部長）  
三木 健之（関西学院大学 高大接続センター 職員）  
中村 洸太（関西学院大学 高大接続センター 職員）

**5. 参加者数（WWL 関連校）**

総数 93 名（WWL 連携校 12 校、93 名）

**6. 行事の目的**

WWLC リーディングプロジェクト “AI 活用 for SDGs” の拠点校・連携校の高校生を中心に、“AI 活用 for SDGs” に関する課題研究のスタートアップのため。

**7. 行事の内容**

- ・開会挨拶：小菅 正伸（関西学院大学 副学長・理事）
- ・基調講演：二上 哲也（日本 IBM グローバル・ビジネス・サービス事業 技術理事）  
※SDGs の課題解決のために AI を含むさまざまな技術事例の紹介
- ・SDGs 講演：神余 隆博  
（関西学院大学 国連・外交統括センター長、元駐日ドイツ大使、元国連大使）  
※SDGs について説明、特徴や課題などを紹介
- ・AI 活用分野：巳波 弘佳（関西学院大学 学長補佐・理工学部教授）  
※AI 技術の概要と、AI 活用の考え方について説明
- ・グループワーク：巳波 弘佳（関西学院大学 学長補佐・理工学部教授）  
関西学院大学 学生・院生  
（AI 活用 for SDGs ワークショップ学生サポーター）  
※SDG の課題解決のために AI をどのように活用するか、関心のあるテーマごとに 5 人 1 チームでディスカッションし、ポスターにまとめ、発表した。各チームにはサ

ポーターとして大学生・院生が1～2人加わった（計37人）。なお、事前課題として、SDGsの課題やAIの具体的な活用事例について調べてまとめることを課しており、当日はそれをベースにディスカッションを始めた。

## **8. 行事の成果**

普段関わりのない海外の大学生と交流し、『接続可能な開発目標（SDGs）に対して何ができるのか』考えるきっかけとなった。

## **9. 資料等**

別紙1 参照

## 1. プログラム名称

AI 活用入門講座

## 2. 提供開始

2019 年 10 月 6 日（日）

## 3. 担当者（全員・役職名）

已波 弘佳（関西学院大学 学長補佐・理工学部教授）

西野 均（関西学院大学 共通教育センター 教授）

山下 二郎（関西学院大学 高大接続センター 事務部長）

春山 晃毅（関西学院大学 高大接続センター 職員）

中村 洸太（関西学院大学 高大接続センター 職員）

木田 貴之（株式会社リクルートマーケティングパートナーズ まなび事業統括本部  
教育機関支援統括部 支援企画部 公教育支援グループ）

## 4. 参加校数（WWL 関連校）・講義視聴時間

総数 9 校 総視聴人数 357 名 総視聴時間 149 時間

※2020 年 3 月 3 日現在

## 5. プログラムの目的

関西学院大学 A I 活用人材育成プログラムを WWL C の高校生向けにアレンジメントし、オンラインコンテンツを制作した。製作したコンテンツは(株)リクルートの協力により Ed Tech を活用し、「WWL オンラインコンテンツ『AI 活用入門講座』」として 10 講座を開設し、拠点校・連携校 27 校に無料で配信する体制を構築した。このコンテンツを活用し、統合イノベーション戦略会議でも示されている、A I 活用に関する基礎知識を身に付け、各校で実施する課題研究に活用することを目指している。

## 6. プログラムの内容

第 1 回 AI と AI 活用人材

第 2 回 AI が活用される社会

第 3 回 AI のグローバルリーディングカンパニーの取り組み

第 4 回 AI を支える技術の概要

第 5 回 AI を支える技術（機械学習）

第 6 回 AI を支える技術（深層学習）

第 7 回 API（API とは、言語系 1）

第 8 回 API（言語系 2・音声系）



第 9 回 API（画像系）

第 10 回 AI 活用 for SDGs

## **7. プログラムの成果**

非常に短い期間であったにもかかわらず、10月にコンテンツをアップロードさせ、事業を開始できたことが最大の成果である。各校生徒に関わる成果については、Covid19 ウィルスの感染拡大のために、計画していた拠点校・連携校との会議が中止となったため、生徒の課題研究の進捗についての調査が十分できていない。次年度において、各校での課題研究の進捗について調査を行う。

## **8. 資料等**

別紙 2 参照

**1. 名称（行事名称）**

Harvard College Japan Initiative × 関西学院大学 ワークショップ

**2. 開催日時**

2020 年 1 月 5 日（日）、6 日（月）、7 日（火）

**3. 開催場所**

・ 関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

・ 大阪梅田ナレッジキャピタル

（カンファレンスルーム タワー B Room B 06+07）

**4. 担当者（全員・役職名）**

村田 俊一（関西学院大学 総合政策学部 教授）

春山 晃毅（関西学院大学 高大接続センター 職員）

中村 洸太（関西学院大学 高大接続センター 職員）

**5. 参加者数（WWL 関連校）**

総数 22 名（WWL 連携校 1 校、1 名）

**6. 行事の目的**

関西学院大学生とハーバード大学生、高校生が持続可能な開発目標（SDGs）に対して何が出来るのか、討論し、そこで出てきたアイデアや提言などを一般来場いただいた方々と共有する。

**7. 行事の内容**

2015 年度から始まり、本年度で 5 回目の開催となる。村田 俊一（関西学院大学 総合政策学部）教授を講師として、『接続可能な開発目標（SDGs）に対して何ができるのか』をテーマに活発に討論・発表を行った。なお、本イベントには公募の高校生 4 名も参加した。

**8. 行事の成果**

普段関わりのない海外の大学生と交流し、『接続可能な開発目標（SDGs）に対して何ができるのか』考えるきっかけとなった。

**9. 資料等**

別紙 3 参照

**1. 名称（行事名称）**

高校生公開討論会

日本に移民を受け入れるべきか ～日本に移民を受け入れることへの賛否～

**2. 開催日時**

2020 年 1 月 25 日（土）

**3. 開催場所**

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂

**4. 担当者（全員・役職名）**

橘 和志（関西学院大学 高大接続センター 職員）

大中 康平（関西学院大学 高大接続センター 職員）

**5. 参加者数（WWL 関連校）**

総数 4 校 108 名（4 校とも拠点校・連携校）

兵庫県立長田高校（80 名）

兵庫県立姫路西高校（5 名）

関西学院高等部（20 名）

関西学院千里国際高等部（3 名）

**6. 行事の目的**

関西の高校生が主体となり、現在社会問題となっている課題に目を向けること。課題（テーマ）に関する意見を各高校のパネリストが発表し、発表された意見に関して参加高校生間で討論を行い、閲覧者も含めて意見の共有を図る。

**7. 行事の内容**

今回は、事前に本学のアンナ・シュラーデ准教授（産業研究所）が各高校を訪問し、今回取り上げる課題についての事前講義を実施。それを受け、各校の代表が各種資料、文献にあたり、意見収集、交換を経て発表資料を作成。

当日は、ドイツ連邦共和国総領事のヴェルナー・ケーラー氏とアメリカ合衆国総領事報道官のアリシア・エドワーズ氏が特別講演としてそれぞれの母国の移民に関してのメリット、デメリットを講演。引き続き、アンナ・シュラーデ准教授の進行で姫路西高校、関西学院高等部、長田高校、千里国際高等部がそれぞれの意見を発表。その後、移民の受け入れについて賛成と反対のグループに分かれ討論を実施した。

## **8. 行事の成果**

参加者（閲覧者含む）よりアンケートを回収。特別講演に関する満足度は87.3%。パネリストの発表についての満足度は82.7%となった。フリーコメントにおいても特別講演や各校パネリストの発表を通して、移民問題に関しての興味が深まった等の意見がみられた。また、参加高校の教員からも生徒たちにとって貴重な機会になった旨のコメントをいただいた。

## **9. 資料等**

別紙 4 参照

別途関連資料を参照。

**1. 名称（行事名称）**

関西学院世界市民明石塾

**2. 開催日時**

2020 年 8 月 6 日（火）～8 日（木） 計 3 日間

**3. 開催場所**

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

**4. 担当者（全員・役職名）**

**【塾長】**

明石 康（関西学院大学 SGU 招聘客員教授（元国連事務次長））

**【講師】**

神余 隆博（関西学院大学国連・外交統括センター長（元ドイツ大使、元国連大使））

久木田 純（関西学院大学 SGU 招聘客員教授（前 UNICEF 駐カザフスタン代表））

マッケンジー クラグストン（関西学院大学特別任期制教授（前駐日カナダ大使））

吉田 明子（国連人道問題調整事務所(OCHA)神戸事務所所長）

鈴木 大樹（一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT) シニア・ダイバー  
シティ・ファシリテーター）

**【事務局】**

関西学院大学 国連・外交統括センター

**5. 参加者数（WWL 関連校）**

30 名（内訳は別紙 関連資料参照）

**6. 行事の目的**

本学のミッション「“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成」の下、将来グローバルリーダーとなることを目指す高校生を対象に、国際的視野や主体的な課題解決力、コミュニケーション力を涵養するための契機とする。

**7. 行事の内容**

別紙 関連資料を参照。

**8. 行事の成果**

参加者の地球規模課題・SDGs への理解促進、課題解決スキルの向上、英語によるディスカッション力の涵養、意欲ある仲間との横のつながりの創出、等が見られた。

詳細は別紙アンケートおよび右記リンク参照。

[https://www.kwansei.ac.jp/unfa/news/detail/news\\_20190904\\_022843.html](https://www.kwansei.ac.jp/unfa/news/detail/news_20190904_022843.html)

**9. 資料等**

別紙 5 参照。

**1. 名称（行事名称）**

WWL・SGH × 探究甲子園

**2. 開催日時**

2020年3月21日（土） ※COVID-19ウイルスのため中止

**3. 開催場所**

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス（中央講堂・G号館）

**4. 担当者（全員・役職名）**

山下 二郎（関西学院大学 高大接続センター 事務部長）

浜田 博（関西学院大学 高大接続センター 課長）

平尾 友美（関西学院大学 高大接続センター 職員）

春山 晃毅（関西学院大学 高大接続センター 職員）

**5. 参加者数（WWL関連校）**

応募総人数 636 名（内WWL連携校 11 校（応募 14 校）） 参加人数 47 名）

※開催中止につき、応募数を記載

**6. 行事の目的**

日本国内の高校において取り組まれた探究活動の成果を共有・評価すること。具体的には、World Wide Learning（以下、WWL）事業、Super Global High school（以下、SGH）事業、文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革」推進事業及び外部組織からオフィシャルに助成を受けた正課の授業で展開された取り組みを対象とした。

**7. 行事の内容**

探究成果プレゼンテーション、探究成果ポスタープレゼンテーション、ラウンドテーブル型ディスカッションの3つのセッションで構成し、発表者を募集した。テーマはSDGsに関連するものであり、下記項目のいずれかに該当することを応募の条件とした。

- ・海外でSDGsに関連するテーマについて情報収集が行われている
- ・国内において外国人を対象にSDGsに関する情報収集が行われている
- ・国内においてSDGsに関連する外国文化について情報収集が行われている

探究成果プレゼンテーションを「検証に基づく探究活動の成果を発表する場」として位置づけ、大学教員による事前の書類審査（予選審査に該当）及び当日のプレゼンテーシ

ョンに対する審査体制を設定した。探究成果プレゼンテーションを、「体験に基づく探究活動を生徒同士で共有する場」として位置づけ、大学教員による書類審査（予選審査に該当）と当日のポスターセッション・生徒同士の相互フィードバック・投票（評価）の体制を設定した。ラウンドテーブル型ディスカッションを「対話による知見共有の場」として位置づけた。議論するテーマを（１）グローバルな人材を育成するための日本の教育改革（２）男性の育児休暇取得を促進するための課題と解決策（３）難民受け入れの是非のいずれかとし、大学教員による事前書類審査（予選審査に該当）と当日のラウンドテーブル型ディスカッション実施の場及び審査体制を設定した。

## 8. 行事の成果

COVID-19 ウイルスの感染拡大に伴い、来場者の安全を考慮し、2月27日に中止を決定した。なお、出場内定者には、『本選出場内定証明書』を送付済(3/21)。開催に伴う応募状は以下の通り。

応募高校数 115校（応募人数 636名）

|               |         |         |
|---------------|---------|---------|
| 探究成果プレゼンテーション | 応募 71 校 | 出場 41 校 |
|---------------|---------|---------|

|                   |         |         |
|-------------------|---------|---------|
| 探究成果ポスタープレゼンテーション | 応募 95 校 | 出場 74 校 |
|-------------------|---------|---------|

|                   |         |         |
|-------------------|---------|---------|
| ラウンドテーブル型ディスカッション | 応募 35 校 | 出場 16 校 |
|-------------------|---------|---------|

※応募高校数は各セッションに重複して応募している高校を除いてカウント

## 9. 資料等

別紙 6 参照



**1. 名称（行事名称）**

高校生国際交流の集い

**2. 開催日時**

2020 年 7 月 25 日（木）・26 日（金）

**3. 開催場所**

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス

**4. 担当者（全員・役職名）**

山下 二郎（関西学院大学 高大接続センター 事務部長）

浜田 博（関西学院大学 高大接続センター 課長）

本荘 雅章（研究推進社会連携機構事務部次長）

**5. 参加者数（WWL 関連校）**

参加者数 87 名（内、WWL 関連校 5 校 参加人数 29 名）

**6. 行事の目的**

「高校生国際交流の集い」は、兵庫県、大阪府の高校生と、日本の高等学校に通う留学生が、関西学院大学でディスカッションやレクリエーションを通して交流する 1 泊 2 日のプログラム。楽しみながらお互いの文化や価値観の違いを学び合い、仲間を作ることがを目的としている。

**7. 行事の内容**

プログラムではレクリエーションで交流を深めるとともに、「SDGs（持続可能な開発目標）」17 の目標の中から選んだ 10 テーマについて、班ごとに 1 つ選択し、2 日間かけてグループディスカッションを進め、最終日にプレゼン発表を行った。

**8. 行事の成果**

留学生 24 人と、関西学院高等部、関西学院千里国際高等部、啓明学院高等学校、三田学園高等学校、帝塚山学院高等学校、大阪府立千里高等学校、大阪府立豊中高等学校、兵庫県立国際高等学校、兵庫県立宝塚西高等学校、兵庫県立長田高等学校、兵庫県立兵庫高等学校、神戸市立葺合高等学校の高校生 63 人

**9. 資料等**

参考リンク：

[https://www.kwansei.ac.jp/shakairenkei/news/detail/news\\_20190731\\_022601.html](https://www.kwansei.ac.jp/shakairenkei/news/detail/news_20190731_022601.html)



# AI活用 for SDGs ワークショップ



～ Society5.0に向けたWWLCリーディングプロジェクト～

**2019.8/1(木) 9:30～17:00**

**関西学院大学 上ヶ原キャンパス**

**皆さんのアイデアで、世界が抱える問題を、AIを用いて解決しましょう！**

世界は、貧困・飢餓・環境汚染など多くの問題を抱えています。

一方、AI（人工知能）は近年急激に進化し、私たちの社会を変えつつあります。

**SDGs**（国連サミットで採択された持続可能な開発目標）の実現に向けて、

**AI**をどのように活用できるか考えてみませんか？

第1部（9:30～12:00）：1. 基調講演

2. 講義（SDGsについて・AI活用について）

第2部（13:00～17:00）：グループワーク（少人数チームに分かれて）※ 現役大学生がサポート！

1. ディスカッション（AIを活用したSDGsの課題解決策について）

2. プレゼンテーション（ディスカッションのまとめをチームで発表）

【参加方法】 高等学校の先生にご相談ください。

主催



**関西学院大学**  
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

# AI活用入門講座（WWL）

スタディサプリ  
for TEACHERS

WWLC\_テスト高校

サポート

メッセージ

テスト用 先生

テスト

学習・進路データ

クラス一覧

生徒情報

講義動画と問題

講座を選択して、講義内容を開覧できます。

WWLオンラインコンテンツ

全教科

全学年

講座名

講義名

検索

AI活用入門講座（WWL）

10 講義

第1回AIとAI活用人材

1 チャプター 3問

第2回AIが活用される社会

1 チャプター 4問

第3回AIのグローバルリーディングカンパニーの取り組み

1 チャプター 7問

第4回AIを支える技術の概要

1 チャプター 2問

第5回AIを支える技術（機械学習）

AI活用入門講座（WWL）

10 講義

この講座の講義

第1回AIとAI活用人材

第2回AIが活用される社会

第3回AIのグローバルリーディングカンパニーの取り組み

第4回AIを支える技術の概要

第5回AIを支える技術（機械学習）

第6回AIを支える技術（深層学習）

第7回API（APIとは、言語系1）

第8回API（言語系2・音声系）

第9回API（画像系）

第10回AI活用forSDGs

お気に入り講座に追加する

※画面キャプチャです。

## 第1回AIとAI活用人材

スタディサプリ  
for TEACHERS

WWLC\_テスト高校

サポート

メッセージ

テスト用先生

クラス一覧

生徒情報

1 テマゾグー 3問

☐ 第2回AIが活用される社会  
1 チャプター 4問

☐ 第3回AIのグローバルリーディング  
カンパニーの取り組み  
1 チャプター 7問

☐ 第4回AIを支える技術の概要  
1 チャプター 2問

☐ 第5回AIを支える技術（機械学習）  
1 チャプター 3問

☐ 第6回AIを支える技術（深層学習）  
1 チャプター 2問

☐ 第7回API（APIとは、言語系1）  
1 チャプター 2問

☐ 第8回API（言語系2・音声系）  
1 チャプター 3問

AI活用入門講座

第1講  
『AIとAI活用人材』

※画面キャプチャです。

## 第2回AIが活用される社会

スタディサプリ  
for TEACHERS

WWLC\_テスト高校

サポート

メッセージ

テスト用 先生 ▼

クラス一覧

生徒情報

1 チAPTER 3問

☐ 第2回AIが活用される社会  
1 CHAPTER 4問

☐ 第3回AIのグローバルリーディング  
カンパニーの取り組み  
1 CHAPTER 7問

☐ 第4回AIを支える技術の概要  
1 CHAPTER 2問

☐ 第5回AIを支える技術（機械学習）  
1 CHAPTER 3問

☐ 第6回AIを支える技術（深層学習）  
1 CHAPTER 2問

☐ 第7回API（APIとは、言語系1）  
1 CHAPTER 2問

☐ 第8回API（言語系2・音声系）  
1 CHAPTER 3問

AI活用入門講座

▶

第2講  
『AIが活用される社会』

00:02 09:38

▶ ◀ 🔊

⚙️ 📺

※画面キャプチャです。

## 第3回AIのグローバルリーディングカンパニーの取り組み

スタディサプリ  
for TEACHERS

WWLC\_テスト高校

サポート

メッセージ

テスト用 先生

クラス一覧

生徒情報

1 チAPTER 3問

☐ 第2回AIが活用される社会  
1 チAPTER 4問

☐ 第3回AIのグローバルリーディング  
カンパニーの取り組み  
1 チAPTER 7問

☐ 第4回AIを支える技術の概要  
1 チAPTER 2問

☐ 第5回AIを支える技術（機械学習）  
1 チAPTER 3問

☐ 第6回AIを支える技術（深層学習）  
1 チAPTER 2問

☐ 第7回API（APIとは、言語系1）  
1 チAPTER 2問

☐ 第8回API（言語系2・音声系）  
1 チAPTER 3問

AI活用入門講座

▶

第3講  
『AIのグローバルリーディング  
カンパニーの取り組み』

00:03 09:34

▶ 🔊

⚙️ 📺

※画面キャプチャです。



## 第4回AIを支える技術の概要

スラディサプリ  
for TEACHERS

WWLC\_テスト高校

サポート

メッセージ

テスト用 先生

クラス一覧

生徒情報

1 CHAPTER 3問

☐ 第2回AIが活用される社会  
1 CHAPTER 4問

☐ 第3回AIのグローバルリーディング  
カンパニーの取り組み  
1 CHAPTER 7問

☒ 第4回AIを支える技術の概要  
1 CHAPTER 2問

☐ 第5回AIを支える技術（機械学習）  
1 CHAPTER 3問

☐ 第6回AIを支える技術（深層学習）  
1 CHAPTER 2問

☐ 第7回API（APIとは、言語系1）  
1 CHAPTER 2問

☐ 第8回API（言語系2・音声系）  
1 CHAPTER 3問

AI活用入門講座

▶

第4講  
『AIを支える技術の概要』

00:03 12:11

▶ 🔊 ⚙️ 📺

※画面キャプチャです。



## 第5回AIを支える技術（機械学習）

スタディサプリ  
for TEACHERS

WWLC\_テスト高校

サポート

メッセージ

テスト用先生

クラス一覧

生徒情報

1 CHAPTER 3問

☐ 第2回AIが活用される社会  
1 CHAPTER 4問

☐ 第3回AIのグローバルリーディング  
カンパニーの取り組み  
1 CHAPTER 7問

☐ 第4回AIを支える技術の概要  
1 CHAPTER 2問

☒ 第5回AIを支える技術（機械学習）  
1 CHAPTER 3問

☐ 第6回AIを支える技術（深層学習）  
1 CHAPTER 2問

☐ 第7回API（APIとは、言語系1）  
1 CHAPTER 2問

☐ 第8回API（言語系2・音声系）  
1 CHAPTER 3問

AI活用入門講座

▶

第5講  
『AIを支える技術（機械学習）』

00:02 13:14

▶ 🔊 🔍

※画面キャプチャです。

## 第6回AIを支える技術（深層学習）

スタディサプリ  
for TEACHERS

WWLC\_テスト高校

サポート

メッセージ

テスト用 先生

クラス一覧

生徒情報

1 チAPTER 3問

☐ 第2回AIが活用される社会  
1 チAPTER 4問

☐ 第3回AIのグローバルリーディング  
カンパニーの取り組み  
1 チAPTER 7問

☐ 第4回AIを支える技術の概要  
1 チAPTER 2問

☐ 第5回AIを支える技術（機械学習）  
1 チAPTER 3問

☒ 第6回AIを支える技術（深層学習）  
1 チAPTER 2問

☐ 第7回API（APIとは、言語系1）  
1 チAPTER 2問

☐ 第8回API（言語系2・音声系）  
1 チAPTER 3問

AI活用入門講座

▶

第6講  
『AIを支える技術（深層学習）』

00:02 09:27

▶ 🔊 ⚙️ 📺

※画面キャプチャです。

## 第7回API（APIとは、言語系1）

スタディサプリ  
for TEACHERS

WWLC\_テスト高校

サポート

メッセージ

テスト用 先生

クラス一覧

生徒情報

1 チAPTER 3問

☐ 第2回AIが活用される社会  
1 CHAPTER 4問

☐ 第3回AIのグローバルリーディングカンパニーの取り組み  
1 CHAPTER 7問

☐ 第4回AIを支える技術の概要  
1 CHAPTER 2問

☐ 第5回AIを支える技術（機械学習）  
1 CHAPTER 3問

☐ 第6回AIを支える技術（深層学習）  
1 CHAPTER 2問

☒ 第7回API（APIとは、言語系1）  
1 CHAPTER 2問

☐ 第8回API（言語系2・音声系）  
1 CHAPTER 3問



※画面キャプチャです。

## 第8回API（言語系2・音声系）

スタディサプリ  
for TEACHERS

WWLC\_テスト高校

サポート

メッセージ

テスト用 先生

クラス一覧

生徒情報

1 チAPTER 3問

☐ 第2回AIが活用される社会  
1 CHAPTER 4問

☐ 第3回AIのグローバルリーディング  
カンパニーの取り組み  
1 CHAPTER 7問

☐ 第4回AIを支える技術の概要  
1 CHAPTER 2問

☐ 第5回AIを支える技術（機械学習）  
1 CHAPTER 3問

☐ 第6回AIを支える技術（深層学習）  
1 CHAPTER 2問

☐ 第7回API（APIとは、言語系1）  
1 CHAPTER 2問

☐ 第8回API（言語系2・音声系）  
1 CHAPTER 3問



※画面キャプチャです。

## 第9回API（画像系）

スタディサプリ  
for TEACHERS

WWLC\_テスト高校

サポート

メッセージ

テスト用 先生

クラス一覧

生徒情報

1 チAPTER 3問

☐ 第2回AIが活用される社会  
1 CHAPTER 4問

☐ 第3回AIのグローバルリーディング  
カンパニーの取り組み  
1 CHAPTER 7問

☐ 第4回AIを支える技術の概要  
1 CHAPTER 2問

☐ 第5回AIを支える技術（機械学習）  
1 CHAPTER 3問

☐ 第6回AIを支える技術（深層学習）  
1 CHAPTER 2問

☐ 第7回API（APIとは、言語系1）  
1 CHAPTER 2問

☐ 第8回API（言語系2・音声系）  
1 CHAPTER 3問



※画面キャプチャです。

## 第10回AI活用forSDGs

スラディサブリ  
for TEACHERS

WWLC\_テスト高校

サポート

メッセージ

テスト用 先生

クラス一覧

生徒情報

☐ 第1回AIとAI活用人材  
1チャプター 3問

☐ 第2回AIが活用される社会  
1チャプター 4問

☐ 第3回AIのグローバルリーディング  
カンパニーの取り組み  
1チャプター 7問

☐ 第4回AIを支える技術の概要  
1チャプター 2問

☐ 第5回AIを支える技術（機械学習）  
1チャプター 3問

☐ 第6回AIを支える技術（深層学習）  
1チャプター 2問

☐ 第7回API（APIとは、言語系1）  
1チャプター 2問

☐ 第8回API（言語系2、音声系）  
1チャプター 2問

ビデオ 00:13:40 1チャプター

問題

AI活用入門講座

▶

第10講  
『AI活用 for SDGs』

00:05 13:39

▶ 🔊 🔍 ⚙️

※画面キャプチャです。



## 講義テキスト(第1回から抜粋)

### AI (Artificial Intelligence, 人工知能) の定義とは？



**コンピュータ上などで  
人工的に人間と同様の知能を実現する技術**

大辞林では…

**学習・推論・判断といった人間の知能のもつ機能を備えたコンピューターシステム。**  
応用として、自然言語の理解、機械翻訳、エキスパートシステムなどがある。

ブリタニカ国際大百科事典では…

**人工的な手段で実現され、知覚、インタラクション、推論（推理）、問題解決、言語、連想、学習などの知的情報処理を自律的に遂行することができる情報処理メカニズム。**



※画面キャプチャです。

## 講義テキスト(第1回から抜粋)

スラディサプリ

AI活用入門講座  
第1回AIとAI活用人材

ホーム 講座一覧 宿題

講義一覧へ

...

1. チャプター 1

11:04

...

確認テスト

全3問

▶

...

問1

...

問2

...

問3

この講義を評価する

問題

現在のAIの実用化が加速した理由は何か？適切なものをすべて選びなさい

解答を選んでください（複数選択可）

AIを利用したゲームの開発が進んだため

コンピュータの性能が向上したため

深層学習や機械学習が実用的な性能を実現できるようになったから

構造化データを高速に処理できる方法が実用化されたため

非構造化データを大量に収集できるようになったため

解答する

※画面キャプチャです。





ハーバード生と共に考える  
「消費とグローバル課題」  
By 関学×ハーバード



## 日時・会場

2020年1月7日（火）15時30分開演  
@グランフロント大阪北館タワーB 10階  
ナレッジキャピタルカンファレンスルーム  
タワーB Room B06+07

## 当日スケジュール

第一部 「消費とグローバル課題」4択クイズ  
第二部 オープンステージ  
第三部 プレゼンテーション

## イベント趣旨

関西学院大学ハーバード大学交流事業は、開発途上国での経験を積んだ関西学院大学の6名の学生と、様々なバックグラウンドで専門性を高めるハーバード大学の学生6名が、世界のあらゆる問題についてディスカッションを行う事業です。大学生たちが持続可能な開発目標(SDGs)に対して何が出来るのか、熱く討論し、そこで出てきたアイデアや提言などを学外の人と共有します。

2015年度に始まったこのイベントはこの度、第5回目を迎えることが出来ました。

さて、今回のテーマは「消費とグローバル課題」です。SDGsは17のゴールからグローバル課題にアプローチする目標ですが、中でも誰しもが行う「消費」は私たちが足元から世界課題の解決に関心を持つ一つの切り口になるのではないかと考えました。

グローバル課題を意識して、賢い「消費」を行えば、誰しもがSDGs達成に向けたアクターになれるのです。今回のイベントでは、身近な「消費」という営みを切り口として、グローバル課題について考え、議論します。

参加フォームは  
こちらから↓



Harvard × KGU



@kghv.2020

📍 特別講演 (13:10 ~ 14:30)

## 『各国の移民と多文化主義について』 (日本語通訳あり)

Migration & multiculturalism in Germany, the US and India



● 13:10 ~ 13:50

ドイツ連邦共和国総領事

**ヴェルナー・ケーラー** 氏

Dr. Werner Köhler

Consul General of the Federal Republic of Germany



● 13:50 ~ 14:30

アメリカ合衆国総領事館 報道官

**アリシア・エドワーズ** 氏

Ms. Alicia Edwards

Public Affairs Officer, U.S. Consulate General, Osaka

👥 高校生公開討論会 (14:45 ~ 15:45)

## 『日本に移民を受け入れるべきか』

- 経済、ビジネス、文化、社会面でのメリット・デメリット -

Immigration to Japan: its benefits and challenges in terms of the economy, business, culture and society

関西学院大学 産業研究所

司会進行

**アンナ・シュラーデ** 准教授

Dr. Anna Schrade,

Associate Professor,

Institute for Industrial Research of Kwansei Gakuin University

# 2020.1.25 (土) 13:00 - 16:30

会場 **関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂**

※入退場自由、申し込み不要

# 日本に移民を 受け入れるべきか

日本に移民を受け入れることへの賛否  
— わたしたちの生活にどのような影響があるのか —

主 催： 関西学院大学

共 催： E U インスティテュート関西 (神戸大学・関西学院大学・大阪大学)

兵庫県立長田高等学校、兵庫県立姫路西高等学校、関西学院高等部、関西学院千里国際高等部

後 援： 文部科学省



# プログラム

## 内容（スケジュール）

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13:00         | 開会あいさつ<br>MC welcome speech                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 13:10 ~ 14:30 |  <b>特別講演 『各国の移民と多文化主義について』</b><br>Migration & multiculturalism in Germany, the US and India                                                                                                                                                                                                                          |
| 13:10 ~ 13:50 | ドイツ連邦共和国総領事 <b>ヴェルナー・ケーラー氏</b><br>Dr. Werner Köhler, Consul General of the Federal Republic of Germany                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 13:50 ~ 14:30 | アメリカ合衆国総領事館 報道官 <b>アリシア・エドワーズ氏</b><br>Ms. Alicia Edwards, Public Affairs Officer, U.S. Consulate General, Osaka                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 14:30 ~ 14:45 | 休憩 Breaktime                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 14:45 ~ 15:45 |  各校パネラーによるプレゼンテーション<br><b>『日本に移民を受け入れるべきか』</b><br>- 経済、ビジネス、文化、社会面でのメリット・デメリット -<br>Immigration to Japan: its benefits and challenges in terms of the economy,<br>business, culture and society<br>Presentations by the 4 participating schools<br><br>プレゼンター<br>兵庫県立長田高等学校<br>兵庫県立姫路西高等学校<br>関西学院高等部<br>関西学院千里国際高等部 |
| 15:45 ~ 16:30 | パネリストやフロア参加者による自由討論<br>Student debate and voting                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 16:30         | 閉会 Closing: final remarks                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

主 催：関西学院大学

共 催：E U インスティテュート関西（神戸大学・関西学院大学・大阪大学）

兵庫県立長田高等学校、兵庫県立姫路西高等学校、関西学院高等部、関西学院千里国際高等部

後 援：文部科学省

# 関西学院世界市民明石塾

## Challenges for SDGs! ～生命（いのち）～

Goal2: 飢餓をゼロに、Goal3: すべての人に健康と福祉を、Goal6: 安全な水とトイレを世界中に

本学のミッション「“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成」の下、将来グローバルリーダーをめざす高校生を対象に、日本人初の国連職員・明石康氏を塾長に「関西学院世界市民明石塾」を開塾します。



塾長：明石 康氏  
関西学院大学SGU招聘客員教授  
(元国連事務次長)

期 間：2019年 8月6日～8日 (2泊3日：合宿形式で行います)

場 所：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

塾 長：明石 康氏 (元国際連合事務次長・関西学院大学SGU招聘客員教授)

対 象：旧SGH校・SGHアソシエイト校、WWL連携校を初めとする  
全国の高校1～3年生 (ただし原則として全日程に参加できること。)

定 員：30名程度 (選考あり)

主催等：(主催) 関西学院大学 (後援) 文部科学省

募 集：2019年 5月31日 (金) ～ **6月11日 (火)**

講 師：神余 隆博 国連・外交統括センター長 (元駐ドイツ大使、元国連大使)

久木田 純 SGU招聘客員教授 (前国連児童基金 (UNICEF) 駐カザフスタン代表)

マッケンジー クラグストン 特別任期制教授 (前駐日カナダ大使)

鈴木 大樹 (一社) グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)シニア・ダイバーシティ・ファシリテーター

「Challenges for SDGs! ～生命（いのち）～」をテーマに、SDGs (持続可能な開発目標) の17の目標のうち、Goal 2: Zero Hunger (飢餓をゼロに)、Goal 3: Good Health and Well-Being (すべての人に健康と福祉を)、Goal 6: Clean Water and Sanitation (安全な水とトイレを世界中に) に焦点を当て、講義やディスカッション、ディベートなどを行います。さらに参加者全員で「世界市民明石塾 生命に関する青年の声明」を作り上げます。

明石康塾長による基調講演テーマ：「異文化世界で生き抜く力」

その他、主なセッションのテーマ：「グローバルイノベーションは飢餓をなくすことができるのか」

- ◆ Goal 2: 飢餓をゼロに
- ◆ Goal 3: すべての人に健康と福祉を
- ◆ Goal 6: 安全な水とトイレを世界中に



➤ 修了時には、修了証書が授与されます。

➤ 明石塾の修了は、「グローバル入学試験 (国際貢献活動を志す者のため入学試験)」の出願要件の一つです。

セッションは**日本語・英語**の両方で行われます。

応募方法等の詳細は以下のURLから募集要項をご覧ください。

<https://www.kwansei.ac.jp/unfa/>

関西学院世界市民明石塾 事務局 (国連・外交統括センター)

TEL. 0798-54-6436 e-mail: akashijuku@kwansei.ac.jp



# 高校生だって、 世界を変える力がある。

紛争、環境問題、貧困、難民…世界は多くの問題を抱えています。

国際人をめざす高校生の皆さんにとって、

これらの問題は他の国のことではありません。

「WWL・SGH×探究甲子園」は、世界の問題と向き合い、

解決へと導く課題研究を行ってきた高校生たちの成果発表の場です。

ここから世界を変える一歩が始まり、

変える意欲のあるグローバル・リーダーが次々と育っていくでしょう。

日時

**2020.3.21(土)**  
**10:00～17:00(予定)**

入退場  
自由

予約  
不要

参加  
無料

先生・保護者の方もご自由にお越しください

会場



**関西学院大学**

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

**西宮上ヶ原キャンパスG号館・中央講堂**

(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

SDGsの実現を目指して



**WWL・SGH×探究甲子園2020**

**2019年度文部科学省WWLコンソーシアム構築支援事業**



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

お問い合わせ先

**WWL・SGH×探究甲子園 事務局**

(関西学院大学 高大接続センター)

TEL:0798-54-6410 MAIL:tankyu-koshien@kwansei.ac.jp

主催



関西学院大学  
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY



大阪大学  
OSAKA UNIVERSITY



大阪教育大学  
OSAKA KYORIKU UNIVERSITY

共催



筑波大学  
University of Tsukuba



金沢大学  
KANAZAWA UNIVERSITY

主催：関西学院大学・大阪大学・大阪教育大学  
共催：筑波大学・金沢大学

探究甲子園

検索



## PROGRAM

## 開会式

10:00～10:30

中央講堂

## 探究成果プレゼンテーション

11:00～14:45

G号館

チームもしくは個人で1回15分間のプレゼンテーション（英語もしくは日本語）と、約5分間の質疑応答を行います。

|                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                          |                                                                                                                                                     |                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>参加チーム：41高校</p> <p>高校名</p> <p>発表テーマ名</p> <p>発表時言語</p> <p>日：日本語 英：英語</p>                                                                                                           | <p>札幌日本大学高等学校</p> <p>みんなに優しく街に調和する<br/>広告や公共サインを目指して</p>                                                                 | <p>仙台白百合学園高等学校</p> <p>ロヒンギャ難民の教育支援について</p>                                                                                                          | <p>秋田県立秋田南高等学校</p> <p>Mutual Understanding through<br/>TLT System for Sustainable Activities:<br/>A Case of Malnutrition in Benin</p> |
| <p>東京学芸大学附属国際中等教育学校</p> <p>障がい者との相互理解・交流に対する意欲の向上<br/>～生徒のためのきつかけ作り～<br/>Improving student motivation towards mutual understanding for<br/>and interaction with disabled people</p> | <p>埼玉県立浦和第一女子高等学校</p> <p>ベトナム戦争と障害者の今<br/>～コミュニティで広がる和～</p>                                                              | <p>埼玉県立不動岡高等学校</p> <p>「障害」のない社会をつくる<br/>～福祉って誰のためのもの?～</p>                                                                                          | <p>千葉県立佐倉高等学校</p> <p>Halal Ramen</p>                                                                                                  |
| <p>石川県立金沢泉丘高等学校</p> <p>クイズ防災マニュアルのすゝめ<br/>～地震大国日本に暮らす外国人へ～</p>                                                                                                                      | <p>富士見丘高等学校</p> <p>「エシカル消費」で持続可能な社会を<br/>～パーム油のサステナブルな<br/>生産と消費について考える～</p>                                             | <p>順天高等学校</p> <p>貧しさの中の幸せとは?</p>                                                                                                                    | <p>富山県立高岡高等学校</p> <p>海の魚を守るために私たちにできること</p>                                                                                           |
| <p>京都府立鳥羽高等学校</p> <p>What type of skills will Japanese companies<br/>require from their workforce in the future?</p>                                                                | <p>福井県立若狭高等学校</p> <p>オタクの力は地域を救うか<br/>～オタクコミュニティの活性化～</p>                                                                | <p>静岡県立三島北高等学校</p> <p>[Lonely→Lively] 孤食0!<br/>地域の子ども食堂が繋ぐ食事の輪</p>                                                                                  | <p>名城大学附属高等学校</p> <p>Our Action for Promoting<br/>African Women's Participation in Society</p>                                        |
| <p>高槻中学校・高等学校</p> <p>Trinity Innovation for Higher Education<br/>with Radio and TV</p>                                                                                              | <p>京都学園高等学校</p> <p>Agricultural Use of Nitrogen<br/>and Climate Change</p>                                               | <p>大阪教育大学附属高等学校池田校舎</p> <p>サイボーグと人間<br/>～我々は人間をどこまで拡張できるか～</p>                                                                                      | <p>大阪府立北野高等学校</p> <p>Making Osaka a City in a Garden</p>                                                                              |
| <p>兵庫県立姫路西高等学校</p> <p>カンボジア支援事業<br/>～自給自足の蚊よけプラン～</p>                                                                                                                               | <p>神戸大学附属中等教育学校</p> <p>樹木系精油の拡散方法による殺菌力の研究</p>                                                                           | <p>兵庫県立兵庫高等学校</p> <p>同一労働同一賃金達成のための<br/>日本の労働組合の在り方を考える<br/>～産業別組合中心の組合体系への改革～</p>                                                                  | <p>兵庫県立長田高等学校</p> <p>日常生活に生きる新たな障害者福祉教育<br/>～人をつくりまちをつくる～</p>                                                                         |
| <p>関西学院高等部</p> <p>創造性を育てる数学教育の研究と普及<br/>～世界の数学教育を高校生の視点から変革する～</p>                                                                                                                  | <p>神戸市立葺合高等学校</p> <p>"Visualization"<br/>of TITP (Technical Intern Training Program)<br/>and Role of Local Community</p> | <p>兵庫県立国際高等学校</p> <p>Consideration of survey results for Filipinos<br/>who have moved out of the Philippines:<br/>What we can do for foreigners</p> | <p>甲南高等学校・中学校</p> <p>『在日コリアンに与えられるべき政治的権利』</p>                                                                                        |
| <p>岡山県立岡山操山高等学校</p> <p>国際比較を通じた日本で<br/>LGBT問題が起こる要因の考察</p>                                                                                                                          | <p>鳥取県立鳥取西高等学校</p> <p>新在留資格「特定技能」に関する<br/>外国人労働者の就労・生活課題とその改善策</p>                                                       | <p>青翔開智高等学校</p> <p>ガーナ マーケットマミーの課題を<br/>仮想通貨で解決する</p>                                                                                               | <p>島根県立出雲高等学校</p> <p>日本でフェアトレードに関心をもってもらうには?</p>                                                                                      |
| <p>徳島県立脇町高等学校</p> <p>徳島県美馬市と台湾における外国人介護人材の現状と課題<br/>～地域住民とのコミュニケーションに関わる問題に<br/>焦点を当てて～</p>                                                                                         | <p>岡山学芸館高等学校</p> <p>届け!カンボジアの子供達に健康手帳を</p>                                                                               | <p>広島大学附属高等学校</p> <p>Mission:世界が求める平和を探究せよ<br/>～平和観を育む背景に注目して～</p>                                                                                  | <p>広島大学附属福山高等学校</p> <p>教育から多文化共生を実現するには<br/>～オーストラリアの多文化共生社会を参考に～</p>                                                                 |
| <p>宮崎県立宮崎大宮高等学校</p> <p>宮崎市街地中心部へのBRT導入の可能性を探索</p>                                                                                                                                   | <p>愛媛県立松山東高等学校</p> <p>Our Fight against Food Loss<br/>～to find interesting and sustainable solutions～</p>                | <p>明治学園中学校・高等学校</p> <p>夜も安心!商店街に子供預かり所を</p>                                                                                                         | <p>福岡双葉高等学校</p> <p>プラスチックカップのおうち</p>                                                                                                  |
| <p>宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校</p> <p>Win-Win Project in GIAHS regions:<br/>Changing the youth's perspective<br/>by environmental volunteerism</p>                                                | <p>鹿児島県立甲南高等学校</p> <p>Improving the active participation of students<br/>in classes within the SGH Konan High School</p> |                                                                                                                                                     |                                                                                                                                       |

※探究成果プレゼンテーション（英語）最優秀賞1名は、グローバルリンクシンガポールにご招待!

Global Link Singapore

検索

## 探究成果ポスタープレゼンテーション

11:00～14:45

G号館

チームもしくは個人で1回10分間のポスタープレゼンテーション（英語もしくは日本語）を計6回行います。 ※質疑応答を除く。

|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>参加<br/>チーム<br/>74高校</p> | <p>■札幌日本大学高等学校<br/>■仙台白百合学園高等学校<br/>■山形県立山形東高等学校<br/>■茨城県立土浦第一高等学校<br/>■東洋大学附属牛久高等学校<br/>■高崎経済大学附属高等学校<br/>■埼玉県立浦和第一女子高等学校<br/>■立教新座高等学校<br/>■千葉県立佐倉高等学校<br/>■暁星国際高等学校<br/>■東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校<br/>■東京工業大学附属科学技術高等学校<br/>■東京学芸大学附属国際中等教育学校<br/>■東京都立南多摩中等教育学校<br/>■富士見丘高等学校</p> | <p>■順天高等学校<br/>■佼成学園女子高等学校<br/>■大妻中野高等学校<br/>■法政大学国際高等学校<br/>■新潟県立高田高等学校<br/>■富山県立高岡高等学校<br/>■金沢大学附属高等学校<br/>■石川県立金沢泉丘高等学校<br/>■石川県立七尾高等学校<br/>■福井県立高志高等学校<br/>■福井県立若狭高等学校<br/>■長野県上田高等学校<br/>■愛知県立時習館高等学校<br/>■名城大学附属高等学校<br/>■星城高等学校</p> | <p>■三重県立桑名高等学校<br/>■滋賀県立水口東高等学校<br/>■京都府立鳥羽高等学校<br/>■京都学園高等学校<br/>■大阪教育大学附属高等学校平野校舎<br/>■大阪府立豊中高等学校<br/>■大阪府立四條畷高等学校<br/>■大阪府立三国丘高等学校<br/>■高槻中学校・高等学校<br/>■清教学園中・高等学校<br/>■関西学院千里国際高等部<br/>■兵庫県立兵庫高等学校<br/>■兵庫県立尼崎小田高等学校<br/>■兵庫県立伊丹高等学校<br/>■兵庫県立柏原高等学校</p> | <p>■兵庫県立加古川東高等学校<br/>■神戸市立葺合高等学校<br/>■兵庫県立北摂三田高等学校<br/>■神戸市立六甲アイランド高等学校<br/>■兵庫県立国際高等学校<br/>■啓明学院高等学校<br/>■関西学院高等部<br/>■奈良県立欽傍高等学校<br/>■和歌山県立日高高等学校<br/>■鳥取県立鳥取西高等学校<br/>■岡山県立岡山操山高等学校<br/>■岡山県立岡山城東高等学校<br/>■岡山学芸館高等学校<br/>■広島大学附属福山高等学校<br/>■広島県立広島高等学校</p> | <p>■山口県立宇部高等学校<br/>■愛媛大学附属高等学校<br/>■愛媛県立松山東高等学校<br/>■愛媛県立宇和島南中等教育学校<br/>■高知県立高知西高等学校<br/>■福岡県立明善高等学校<br/>■明治学園中学校・高等学校<br/>■中村学園女子高等学校<br/>■佐賀県立佐賀農業高等学校<br/>■長崎県立長崎東高等学校<br/>■長崎県立大村高等学校<br/>■熊本県立済々黉高等学校<br/>■宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校<br/>■鹿児島県立国分高等学校</p> |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ラウンドテーブル型ディスカッション

11:00～14:45

G号館

テーマに基づいて出場者同士が日本語でディスカッションを行います。

|                                |                                                                                                                                         |                                                                                                                                                  |                                                                                                                  |
|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>参加者<br/>16高校<br/>18名の生徒</p> | <p>テーマ▶ グローバルな人材を育成するために必要な日本の教育改革</p> <p>■金沢大学附属高等学校<br/>■兵庫県立洲本高等学校<br/>■兵庫県立伊丹高等学校</p> <p>■富士見丘高等学校<br/>■岡山学芸館高等学校<br/>■暁星国際高等学校</p> | <p>男性の育児休暇取得をさらに促進するための課題と解決策</p> <p>■静岡県立三島北高等学校<br/>■名城大学附属高等学校<br/>■高槻中学校・高等学校</p> <p>■金沢大学附属高等学校<br/>■大阪教育大学附属高等学校平野校舎<br/>■群馬県立中央中等教育学校</p> | <p>難民受け入れの是非</p> <p>■和歌山県立日高高等学校<br/>■名城大学附属高等学校<br/>■広島県立広島高等学校</p> <p>■関西学院高等部<br/>■大妻中野高等学校<br/>■福岡双葉高等学校</p> |
|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 協力企業による講義・資料配布・個別相談ブース

11:00～15:00 (予定)

G号館

株式会社JTB・文部科学省トビタテ!留学JAPAN・日本経済新聞社

## 高校生交流会・教員交流会

※高校教員の方はどなたでもご参加頂けます。

15:00～15:45 (予定)

G号館

## 表彰式・閉会式

16:00～17:00

中央講堂

お問い合わせ先

WWL・SGH×探究甲子園 事務局 (関西学院大学 高大接続センター)

TEL:0798-54-6410 MAIL:tankyu-koshien@kwansei.ac.jp

探究甲子園

検索